

フカフカの森の土

山の小径（こみち）を少し離れて、落ち葉が敷き詰められた森の中へ入っていくと、フカフカとした土の感触が伝わってくる場合があります。それは、まるでクッションのようで、歩いていてとても心地よいものです。

このフカフカの土が、実はたくさんの生命の営みによってつくられていることを、ご存じでしょうか？



写真提供：私の森.jp 写真部

森では、樹木を中心に様々な生き物が深く関わり合いながら生きています。例えば、地上に落ちた葉っぱなどは、アリやミミズ、ダンゴムシなどに食べられ、小さく砕かれ、最後は、微生物によって分解されて土になり、再び樹木の養分として吸収されます。

土の中では、こうした生き物たちの活躍によって、大小のたくさんのトンネルがつけられ、空気をたくさん含んだスポンジ状になるのです。

ところで、森の中のフカフカの土は、私たちの暮らしにもいろいろな恵みを与えてくれます。フカフカの土があると、樹木がよく育ち、根が張りめぐらされ、森の中の土砂が流れ出るのを防ぎますし、スポンジのような状態が、水を十分にため込む力となり、山に降った雨水が時間をかけて流れ出てくることとなります。



写真提供：私の森.jp 写真部

このような森の働きは、一見、樹木のカだけのように思われがちですが、実は、樹木を中心とした様々な生き物の働きが複雑にからみあうことによって、成り立っているのです。